

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年	保育実践プログラム	全教員	
サブタイトル	幼児との関わりを通して専門性を研く	単 位 数	1
授業形態	演習		出席要件
開講時期	通年		
到 達 目 標			
<ul style="list-style-type: none"> ・入園当初の幼児が安心・安定した生活を送るための環境の在り方や保育者の援助のあり方について理解することができる。 ・三田幼稚園との合同避難訓練や文化祭（にこにこ祭り）に取り組む中で、幼児とのよりよい関わり方を考えるとともに、行事のあり方を理解し、保育者としての専門性を研ぎ、実践力を高めることができる。 			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>○ディプロマ・ポリシーとの関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する基礎的な知識や保育技術を修得し、保育の現場で応用して発揮することができる。 ・仲間との学びを通じ、他者の意見や考え方を尊重し、相互の信頼関係を築きながら目的の遂行に向けて協力して取り組むことができる。 <p>○カリキュラムマップとの関連</p> <p>カリキュラムマップ「保育現場で学ぶ」の2年前期「仲間と学び合い、専門性を研く時期」、2年後期「実践力を高める時期」に位置付けられている。</p>			
授 業 の 方 法			
<p>○三田幼稚園の入園当初の幼児や合同行事（合同防災訓練・にこにこ祭り）での幼児との関わりを通して、指導のあり方や保育者の役割について考究し、専門性を研ぎ、実践力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の理論と1年次の行事等で学んだことを生かしながら、幼児と関わる。 ・幼児との関わりの中で得た学びや課題を自覚し、グループ協議をする中で成果・課題について協議し、実践力を高める。 			
テキスト・教材・参考図書			
教材：必要に応じて教材や資料プリント・課題を配布する。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
<ul style="list-style-type: none"> ・各自の課題を明確にして、自分なりに解決を図ることができる。 ・保育者の使命や職務を自覚し、その具体的な内容を説明できる。 		レポート提出 60% 最終レポート 40%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と関わり方について考え、注意事項を理解し、実践する。 ・提出物に関して期日を厳守し、レポートは必ず提出する。 ・グループ討議には主体的な態度で臨むこと 			

科目名 保育実践プログラム

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス（授業の内容・方法等） 幼児との信頼関係について学ぶ 関わるときの諸注意	授業の内容の理解 幼児との信頼関係形成の理解 注意事項の理解
2回	1 グループ： 9:15～10:15 観察と幼児とのふれあい 2 グループ： 10:15～11:15 観察と幼児とのふれあい	幼児の実態の理解 幼児理解、幼児と関わる力、課題発見力
3回	1 グループ： 10:30～11:00 振り返り（個人） 2 グループ： 11:30～12:00 振り返り（個人）	幼児の発達の理解 発言力、考察力、表現力
4回	各自の振り返りを基に、信頼関係の形成においてどのようなことが大切かをグループで考え、発表する 各自でレポートにまとめる	分析力・発言力 課題解決力・表現力 発表力
5回	合同防災訓練での幼児との関わり方を考える 合同防災訓練に参加する 合同防災訓練を振り返り、成果と課題について考える	避難訓練の重要性理解 災害時の対応理解 課題発見力 発言力 課題解決力
6回	<文化祭（にこにこ祭り）① > にこにこ祭りの担当を決め、仕事内容を理解する 幼児や来場者との関わり方について共通理解を図るとともに、行事を運営する上での保育者の役割について理解する	仕事内容・行事運営理解 考察力 発言力 課題解決力
7回	<文化祭（にこにこ祭り）② > 文化祭（にこにこ祭り）に参加し、会の運営を意識して取り組む 幼児や来場者と関わりながら自分の役割に責任をもち取り組む	行事運営力 幼児や保護者と関わる力 達成感
8回	<文化祭（にこにこ祭り）③ > 文化祭（にこにこ祭り）での幼児との関わりの振り返りと各自の課題を考える <まとめ> 1年間を通して学んだことや課題を振り返る	洞察力 自己分析力 課題解決力 まとめる力